

しょうがくせい

小学生のみなさんへ

きょうど かん じゅうけんきゅう
郷土に関する自由研究

しんぶん
新聞スクラップのすすめ (しゃかい かさくひんてん
社会科作品展)

しゃかい かさくひんてん おうぼ
社会科作品展に応募しよう！

- ～ じぶん す ちいき よっかいちし みえぐん みえけん
自分の住む地域（四日市市、三重郡、三重県）のようす、
そこで いたる ひと けんきゅう
働いている人びとについてじっくり研究してみよう ～
～ しんぶん と く
新聞スクラップに取り組んでみよう ～

いつも見なれているところでも、じっくり見たり、くわしく調べたりしてみると、
ふしぎなことや、おどろくことがたくさんあります。いろいろな人に話を聞いて
みると、今までしらなかったことがいっぱいわかってきます。目や耳をしっかりと
かって、自分の町を歩いてみましょう。そして、郷土に関する自由研究に挑戦し
てみましょう。わたしたちが住んでいる地域と結びついた環境・公害をテーマに
した作品は「公害・環境に関する研究作品展及び研究発表会」へも応募ができます。

また、私たちのまわりでは毎日いろいろな事がおきています。目まぐるしく動
く社会の出来事は、ニュースとなって私たちの手元にもたらされます。なかでも
新聞は忘れがちな情報を記事として届けてくれるため、読んでおもしろいと感じ
たこと、心に残ったことなどを切り抜き、内容別に整理し貼り付ければりっぱな
記録として残ります。新聞スクラップは根気を養い、読む習慣や物事を考え発表
する力をつけることができます。ぜひ、取り組んでみましょう。

みなさんも知ってのとおり、今は新型コロナウイルスへの感染対策が大切です。

感染状況によっては、現場に行つての見学や直接会つてのインタビューができない

こともあります。今できる研究方法を考えて無理せず研究を進めましょう。

郷土に関する自由研究

※ しょうがっこうぜんがくねんだいしょう み え けんない さんしちくない かぎ
※ 小学校全学年対象。三重県内（できれば三泗地区内）のものに限る。

1 こんなことを調べた人もいるよ（例）

- 1・2年** 「がっこうのいきかえりにみつけたよ」「だいすきなおみせやさん」
「ぼくのまちのバスのうんてんしゅさん」「〇〇まちたんけん」
- 3年** 「わたしのまちのじどうはんばいき」「ちらしからわかるお店の工夫」
「〇〇通りの店のうつりかわり」「市場くらべ」「ぼくのまちのまつり」
「うちのくらで見つけたむかしのどうぐ」
- 4年** 「ごみのこと知ってる？」「ぼくの家で使った水のゆくえ」
「わたしのまちの消防団」「たのしいリサイクル」
「だいじょうぶかな？東海大じしん」
- 5年** 「おいしいお米作り」「手づくりきゅうすをたずねて」
「四日市公害の昔と今」「とうふの製造を続ける〇〇さん」
「バッチあみ漁の体験」「わたしのまちのバリアフリー」
- 6年** 「弥生時代とわたしのまちのいせき」「おばあちゃんの戦争体験」
「〇〇町に見られる東海道」「信長と四日市の城」
「世界とつながる四日市」

2 調べるときに、気をつけること

- ① まずは、自分の目でじっくり見て、気づいたことを大事にしよう。
- ② わからないことやふしぎに思ったことは、まず自分でそのなぞについて考えてみよう。
何回も見ているうちに、なぞがとけることもあるよ。それでもわからないことは、図書館や市役所、タブレットで調べたり、人に聞いたりしてみよう。
- ③ 見学に行くときは、相手の人に連らくをして、わけを話してから行こう。
- ④ インタビューするときは、何を聞きたいのか、なぜ知りたいのかをはっきり伝えてから聞こう。
- ⑤ 写真をとらせてもらうときは、とってもいいか、たずねてからとろう。とった写真などはインターネットなどを使って無断で多くの人にひろげないよう、気をつけよう。
- ⑥ 相手の人や、まわりの人にめいわくをかけないよう、気をつけよう。
- ⑦ ていねいな言葉づかいをしよう。
- ⑧ 教えてもらった人には、きちんとお礼を言おう。

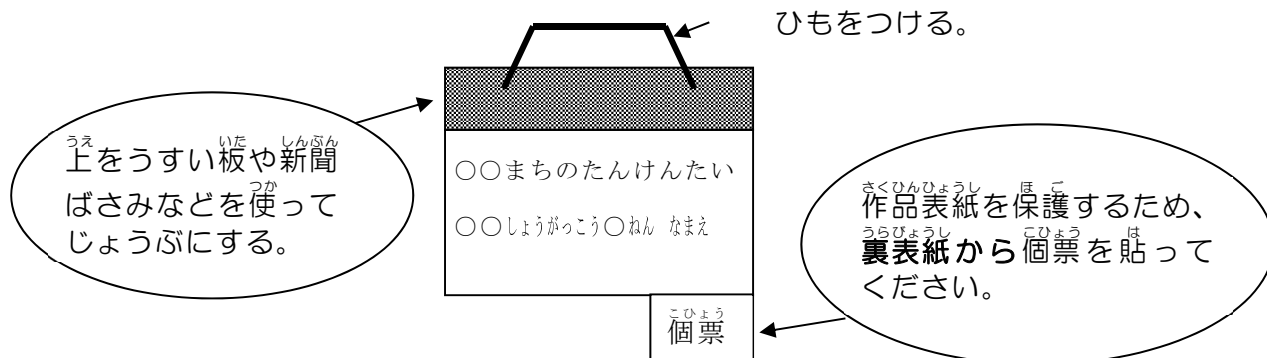
しんがた かんせんじょうきょう けんがく
新型コロナウイルスの感染状況によっては、見学やインタビューがめいわくになること
があるよ。おうちの人や相手の人と相談して研究方法を考えよう。

3 まとめるときに、^き気をつけること

きょうど かん じゅうけんきゅう
(郷土に関する自由研究)

- ① 調べたいこと(テーマ)をはっきりきめる。
- ② 調べたいとおもったわけを書く。
- ③ 調べたことのまとまりごとに、^{ちい}小さな^{だい}題(小見出し)を入れる。
- ④ ^え絵・^{しゃしん}写真・^{ちず}地図・^{ひょう}表・^{ひょう}グラフなどをつかって、^み見やすくまとめる。
- ⑤ 資料はそのまま写すのではなく、調べて^{おも}思ったこと、^き気づいたこと、^{かんが}考えをくわしく^か書く。
- ⑥ 調べてみてわかったことと、調べてみてわからなかったことや^{おも}ふしぎに思ったこと、もう少し^{かんが}考えてみたかったことなどを^かまとめに^か書く。
- ⑦ 本や資料などをつかったときは、その本や資料の^{ほん}本や^{しりょう}資料の^{なまえ}名前をさいごに^か書く。
- ⑧ ノート、スケッチブック、^が画用紙、^{げん}原こう用紙、もぞう紙、^{はっぴょう}発表ノートなどにまとめる。
もぞう紙をつかうときは、^{ふん}4分の1以内の^{おお}太きさにする。
- ⑨ 付属品を作った場合は、^{しゃしん}写真に撮って^{さくひんちゆう}作品中で^{しょうかい}紹介する。
- ⑩ 作品のはじめに、^{だい}題・^{がっこう}学校・^{がくねん}学年・^{なまえ}名前(グループのときは^{ぜんいん}全員の^{なまえ}名前)を^か書く。
※写真はタブレットを使うと簡単に^{かんたん}とることができるね。

【作品の例(もぞう紙の場合)】



※^{しょうがっこう}小学校^{ねんせい}4年生～^{ねんせいたいしょう}6年生対象。個人^{こじん}の作品^{さくひん}に限る^{かぎ}。

1 こんなことを調べた人もいるよ（例）

○ 主なテーマ例

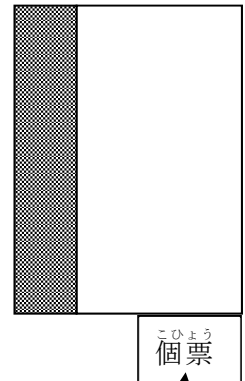
ニュース・一般社会・社説・コラム・政治・経済・環境・天候
災害・福祉・医療・食品・公害・戦争・スポーツ・犯罪・事故など

「変わる～私達への影響を考える～」

「私の平和事典～「平和」を集めました～」

2 調べるときに、気をつけること

- ・ 新聞の記事や写真を切り抜いてノートや用紙に貼ります。
- ・ 新聞を読んで、思ったことや考えたことを書きます。
 - ① 少なくとも一日、10分間は新聞を読みます。
 - ② よい記事や写真には色えん筆で印をしておきます。
 - ③ 切りぬきを始めます。
 - ④ テーマにしたがって、貼ります。
 - ⑤ 記事や写真について、意見や感想を書きこみ、
自分の考えもまとめます。



作品表紙を保護するため、
裏表紙から個票を貼って
ください。

3 まとめるときに、気をつけること

- ① 切りぬく新聞の種類は自由とする。
- ② 作品は A3用紙サイズ（縦42センチ 横30センチ）の大きさまでにする。
枚数は自由とする。
- ③ 画用紙をとじたり、スクラップブックやノートを利用したりするのも自由とする。
- ④ 切りぬく期間は、令和3年度の夏休みを中心とするが、研究の都合によっては
それ以前のものでかまわない。
- ⑤ はじめにテーマをきめる。テーマはなるべく一つにしぼったほうがよい。
- ⑥ 使用した新聞名と日付は、よくわかるようにならず作品の中書き入れる。
- ⑦ 切ったり貼ったりは工作の要領でいいにする。
- ⑧ いろいろな工夫をして、人が見てもわかりやすい作品に仕上げる。
- ⑨ 記事に対しての、自分の考えや感想を書き込む。

= **三 泗 小 中 学 校 社 会 科 作 品 展 の お 知 ら せ** =

作品展に応募してくれたみなさんの中から、学校の代表となった作品を、

『 四 日 市 市 文 化 会 館 第 1 展 示 室 』 で展示します。

展示期間

9月11日(土)・12日(日)

9時～17時 まで

9月13日(月)

9時～12時 まで

※新型コロナウイルス感染症対策のため、展示作品を減らしたり、
作品が展示される人に入場券を配って入場制限をしたりして開催します。

暴風警報等発令時や新型コロナウイルスの感染状況等により、開催を中止する場合もあります。四日市市立教育センターホームページ（<http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>）で確認をしましょう。